

製品名: LWS ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13496**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	RXRG NR2B3
別名	Retinoic acid receptor RXR-gamma (Nuclear receptor subfamily 2 group B member 3) (Retinoid X receptor gamma)
遺伝子 ID	6258.0
SwissProt ID	P48443
免疫原	ヒト LWS 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 380-420

背景

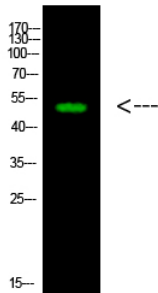
レチノイド X 受容体ガンマ (RXRG) ホモサピエンス この遺伝子は、レチノイン酸 (RA) の抗増殖作用を媒介する核内受容体のレチ

ノイドX受容体 (RXR) ファミリーのメンバーをコードする。この受容体は、レチノイン酸受容体、甲状腺ホルモン受容体、ビタミンD受容体と二量体を形成し、それぞれの応答配列におけるDNA結合と転写機能の両方を増強する。この遺伝子は、非小細胞肺癌細胞において有意に低いレベルで発現している。選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2010年6月];注意:ここに示す配列は、Ensembl自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮する必要がある。、ドメイン:3つのドメイン(N末端調節ドメイン、DNA結合ドメイン、C末端ステロイド結合ドメイン)から構成される。、機能:核内ホルモン受容体。レチノイン酸応答経路に参与する。9-シスレチノイン酸(9C-RA)に結合する。、類似性:核ホルモン受容体ファミリーに属する。NR2サブファミリー。、類似性:核受容体DNA結合ドメインを1つ含む。、

研究分野

PPAR;アディポサイトカイン;がんにおける経路;甲状腺がん;小細胞肺がん;非小細胞肺がん;

画像データ



1,000倍希釈のLWSウサギポリクローナル抗体(4°C、一晩)を用いたマウス心臓細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体:ヤギ抗ウサギIgG IRDye 800(1:5000希釈、25°C、1時間)。